

◆通所介護ナイス・デイ◆訪問介護ナイス・ケア◆小規模多機能型居宅介護ナイス・ホーム◆住宅型有料老人ホーム愛宕の家◆有料職業紹介つしま紹介所◆学童・託児ナイス・キッズ◆喫茶てのひら

**S・O・S vol. 199通信**  
**H29年3月7日発行**  
 発行元：株式会社サポート・ワン・サービス  
 愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036  
 代表TEL：(0567) 26-3921  
 FAX：(0567) 26-3922  
 ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

《利用状況 案内板 (☆募集中★満員)》  
 ☆ナイス・ケア ☆=利用者さん大募集♪  
 ☆ナイス・デイ (定員 10名)  

日	月	火	水	木	金	土
6	8	7	7	7	7	8

 ☆ナイス・ホーム (定員 21名、現在登録者 16名)  
 ☆愛宕の家 (定員 17名中入居者 14名)  
 ☆つしま紹介所  
 ☆ナイス・キッズ  
 (平日、下校後の利用のみ募集中)  
 ~参考にご利用下さい~

《3月行事予定》  
 3日 ひな祭り  
 10日 外食DAY & 梅見  
 12日 基目寺観音朝市 (打太鼓)  
 20日 避難訓練  
 21日 運営推進会議  
 ナイス・ホーム 13:30~  
 ナイス・デイ 14:30~  
 29日 誕生日会  
 《不定期行事》  
 天気や意欲等で状況判断し、外出先一覧を参考に社会生活に参加します。

《教室案内》  
 ・和太鼓 月曜日(年間 35回)  
 場所:愛西市川淵コミュニティ  
 ・コーラス 水曜日(月2回)  
 場所:喫茶てのひら  
 ・バスケット 金曜日(月2~4回)  
 場所:藤浪中学校体育館  
 ※職員やキッズ達の趣味活動を兼ねて各教室を発足。地域の方々にも参加していただけます。  
 各教室月謝制で、定員あり。  
 詳細はお問い合わせ下さい。

認知症ケアは何から学ぶのか……/S・O・S  
 認知症ケアとはどんなものなのだろう。誰が何を伝える？誰から何を学ぶのか、その学んだものは通用するものなのだろうか？私たちにはどんな能力が求められるのだろうか。教科書で学ぶことはたくさんある。研修にも参加している。しかしそれぞれ色々な症状があり教科書通りにはいかないし、教科書通りの方法が正しいと思えない。  
 18年前、新人看護師だった私は先輩看護師に“看護師”の指導を受けた。医師の指示があり、それを基本に患者の看護をしていた。特に急性期医療の場合、今日の前の数値や症状が重要であるし、管理しやすい状態にあり、また管理しなければ治療が成り立たないのだと思う。  
 ところが、認知症の方と関るようになってそれは通用しないことに気が付いた。管理しようとするから、問題行動とこちら側が受け取れば薬剤でコントロールされるだろう。その人の背景を知っている家族がその異変に気づき愛宕の家に来てくれた人も少なくない。在宅への訪問介護では家族の要望と本人との要望にズレがあり『私はまだ出来るのに勝手に決められた』とこぼす方もみえる。だが、認知症の方の私たちには理解できない言動をみて、“認知症だから仕方ない”と思っていた。そして、介護・医療に携わっている者として“その人らしく”あるためにケアを提供することが良いことだと思っていた。しかしそれは“与えてあげる”という一方的に提供されるものが多く、自己満足で終わっているかのように感じるようになった。そう感じるようになったのは、色々な認知症の方やその家族、そして介護職医療職の方たちと関る中で違和感を持ったのだと思う。  
 今、認知症ケアというものが、一方的に提供するものでもなければ、認知症の人と私たちと区別するものでもないという感覚、同じ空間に生きているという感覚、お互いが尊重し合えるという感覚……の中で、その人の背景を想像していくものなのではないかと思っている。それは今まで関わってくださった方々との関わりから学んだことだと思う。認知症ケアとは職種なんて関係なく、人間性が問われているかのように思うのだ。(M・T)

**新しい家族/愛宕の家**

先月の通信で2名の看取りをさせてもらったことで寂しくなると書いたが、新たに3名の方が入居され、少し賑やかになった愛宕の家。  
 Nさんはナイス・ホームから愛宕の家へ。最初の頃は緊張していたようで口数が少なかったが、顔見知りのスタッフも多くすぐに慣れてきて、いつものNさん節が聞かれる。ユーモアがあり、会話の中でNさんの突込みが入る。普段は「こんなとこに来てまって…はよ帰りたいわ。なつとらん！」と毒舌だが、極々たまに「ここへ来て良かった」と言ってくれる。嬉しい言葉だが、私はまだ一度も聞いたことがない。  
 Yさんも自宅での独居生活が難しくなりナイスホームから愛宕の家へ入居となった。さすが一人での生活も長かったこともあってか自分の意思をはっきり言うなど芯がしっかりしている。まだ、じっくりお話を出来ないで、チャンスがうかがっているところ。  
 Mさんは、元々愛宕の家に入居している方のお母様。今までご夫婦で入居は何組かあったが、親子は初めて。息子さんが認知症を発症され、在宅でお嫁さんと介護をされていたが病状の進行により施設入居となった。会った時、『もう会えないと思っていた。何もできないけど、傍にいられるだけで嬉しい』と話してくれた。『歩けんようになるとお嫁さんに迷惑かけるで歩く練習しないかん』とせせせと廊下を往復している。  
 女性11名、男性3名の入居者さん。  
 入居者さんが変わると愛宕の家の雰囲気も変わる。入居者さん同士でコミュニケーションがとれるよう、その中に私も混ぜてもらってその時その時の雰囲気に合わせて楽しく穏やかに過ごせる家にしたい。(K・T)



**食べる事は生きる事/ナイス・ケア**

愛宕の家の訪問介護中、食事時間近くになると、「ごはん遅いね〜」「お腹すいた」「ご飯がおいしい。」こんな言葉がこちらこちらから聞こえてきます。そんな時、私は嬉しくなります。反対に「食べたくない」と聞こえてきたり、下膳の時にいつもより食事が残っていると「どうしたんだろう？」と心配になります。体調悪いのかな、入れ歯が合っていないのかな…  
 一つの要因として、口腔環境が挙げられます。訪問介護では口腔ケアのサービスを必要とされる方が多いです。食事前の歯ブラシやうがい、入れ歯の洗浄、口腔内の状態把握…、利用者さんがどこまで自分で出来て、どこにお手伝いが必要なのか…。誤嚥の危険はあるか？いろいろな情報を元に関わります。他人に口の中を見られたり、触れられたりする事は抵抗があると思います。それでも、お口のトラブルがないことで、おいしく食事が食べられる！気力がわく！良い事はたくさん。  
 今月は口腔ケアの外部研修に参加予定です。知識を吸収し、社内に広げ、利用者さんが食べる事、生きることが楽しめるようお手伝いしたいと思っています。(K・N)

**兄弟の事情/打太鼓**

打太鼓は兄弟で練習に参加をしているメンバーがほとんどである。練習中、しばしば兄弟げんかが勃発することも…。他の子が同じことをしても何も事は起こらないのに、兄弟が絡むと2人共が感情的になってしまう。  
 今までもよく目にしていた光景だが、兄が妹に練習中ちよっかいをかけ妹がすねる。すね始めると途端に練習意欲が落ちてしまう。私は思わず兄に向かって「ちよっかいをかけるな！」と発してしまうのだ。  
 ある日、他の兄が「俺は下の子にちよっかいをかける気持ちがよくわかる。上の子は自分の弟や妹の行動が気になるもんなんだ。まじめにやってなかったり、練習の妨げをしている行為は、上の子としては自分の事のように気持ちがイライラする。だから、ちよっかいをかけたくなる。」と言ってきた。小さいころから親と一緒に見守ってきている上の子は、なんだかんだ言ってプチ保護者なんだろうな。(R・W)

**介護プロフェッショナルキャリア段位制度④**

《段位取得者》 1期生&2期生(計5名)  
 《認定中》 2期生&3期生  
 《現在、技術評価中》 4期生(3名)

**《編集後記》**

1月末に新しい職員が仲間入りしました。約1か月の経ったころ、「介助は不安だけど、利用者さんと関わる事はやっぱり楽しい♪」とつぶやいているのを聞きました。介護の基本は人と人との関わり。新しい職員のおかげで再認識。(Y・O)

**お雛様がやってきた/ナイス・デイ**



30年前に誕生したお雛様が縁あってこの度ナイス・デイにやってきた。30年も経っているとは思えないほどの美しさ。道具も着物も全く劣化がみられず、収納ケースに納まっている。  
 もともと、ナイス・デイは女性が多く、お雛様を飾ったことでみなさんとても喜ばれた。お雛様を通して、話に花が咲く。お雛様クイズ、歌、お雛様の由来、そしてお花紙貼り絵…。お雛様一つでもこんな風に話題が広がり、楽しく過ごしています。  
 さあ、春がやってくる♪(M・O)

SOS通信はホームページへの掲載と合わせ、地域の関係者や事業所、ご家族様へも発送しています。

3月の発送部数 92部